

一般社団法人
新発田青年会議所



～まな～

創立65周年記念誌

JCI Shibata 65th Anniversary

1958～2023

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning
and purpose to human life;

That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best
be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies in human personality;

and That service to humanity is the best work of life.



The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
and That service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる

真理は人生に意義と目的を与え

人類の同胞愛は国家による統治を超越し

公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ

政府には人治ではなく法治が必要であり

人間の個性はこの世の至宝であり

人類への奉仕が人生最大の使命である

J C I Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people
to create positive change

青年会議所は、青年が社会に

より良い変化をもたらすために

リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

J C I Vision

To be the foremost global network
of young leaders

青年会議所が、若きリーダーの国際的
ネットワークを先導する組織となる。

J C 宣言文

日本の青年会議所は

希望をもたらす変革の起点として

輝く個性が調和する未来を描き

社会の課題を解決することで

持続可能な地域を創ることを誓う

綱 領

我々 JAYCEEは

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう



J C ソング

作詞 松田 薫
作曲 奥山勝太郎

一、J C J C J C

せかい むす わか ちから
世界を結ぶ 若き団結

あたし よ のぞみ
新しき世紀の希望となりて

とわ さか われら つど
永遠に繁栄えん 我等の集い

二、J C J C J C

ほうし りそふ もと
奉仕の理想 探究めつつ

くに あゆみ ちから
祖国の進歩の 力となりて

さきが われら つど
先駆けゆかん 我等の集い



JCI  Junior Chamber International Shibata

一般社団法人 新発田青年会議所

創立65周年記念誌

目 次

理事長挨拶.....	4
祝辞.....	5
第60代から第64代理事長並びに事業紹介	11
歴代理事長紹介.....	21
特別会員・現役会員紹介.....	23
実行委員長挨拶.....	34
65周年式典	35
第4回わんぱく相撲女子全国大会	36
各委員会事業紹介.....	37



ご 挨拶

1958年11月19日、地域社会の発展を図り、会員の連携と指導力の啓発に努めるとともに、国際的理解を深め世界の繁栄と平和に寄与することを目的とし、新発田青年会議所は、全国で175番目のLOMとして産声をあげました。高い志を掲げながら紡いできた歴史は本年で65年という節目を迎えました。

この地域に、新発田青年会議所が永きにわたり在り続得たことができたのは、歴史を紡いで来られた先輩諸兄弟と関わる地域の方々、そして多くの同志の支えがあったからこそであり、今こうして活動できていることが本当にありがたいこととあります。心から感謝申し上げます。

我々はこの地域にインパクトある運動を強い念いで展開してまいりました。65年間の中で先輩諸兄弟が信じて進み、成し遂げてきた運動を今まで以上に挑戦とし続け、これからも愛をもってこの地域との絆を深めてまいります。

結びに、私たちは時代にあった明るい豊かな社会を実現すべく、これからも会員一丸となって奮進してまいります。これまでも様々な方面より活動をお支えいただきましたすべての皆様に改めて感謝申し上げますとともに、引き続きご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。心からお礼の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人新発田青年会議所
第65代理事長 若桑 正樹

祝 辞



衆議院議員
齋藤 洋明

一般社団法人新発田青年会議所創立65周年、誠におめでとうございます！

地元選出の衆議院議員として、また不肖の一〇八として、心よりお祝いを申し上げます。

さて、65年前といえば「戦後」が一段落し、東京タワーが完成し、特急「こだま」が東京と大阪を結び、1回目の東京オリンピックを数年後に控えた、日本も新発田圏域も高度成長に向かう時期です。それから、高度成長から安定成長となり、地方も人口減少を迎えることとなりました。

この間、新発田青年会議所が、修練と奉仕を旨とする公益団体として圏域で活動し、数多くの人材を輩出してきたことは、ひとえに会員として活動してこられた方々と、活動を理解し支援してこられた方々のおかげであり、感謝の念に堪えません。

本年も、若桑正樹理事長のもと、第4回わんぱく相撲女子全国大会新潟しばた大会や65周年記念式典の開催など、行事が目白押しでした。

時代とともに変わるものもあれば、変わらない不変(普遍)の価値があります。青年会議所が育む「未来への変革の力」こそがそれに当たると考えます。その活動を担う現役会員の皆様のますますのご活躍を祈念申し上げて、お祝いの言葉とします。

おめでとうございます！



新潟県知事
花角 英世

一般社団法人新発田青年会議所が創立65周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

昭和33年の創立以来、貴青年会議所におかれましては、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、青少年の健全育成をはじめ幅広い活動に取り組まれるなど、地域の活性化に大きく貢献してされました。歴代の役職員や会員の皆様方のこれまでの御尽力に対し、深く敬意を表します。

さて、本県経済は、緩やかに持ち直している状況にありますが、エネルギー・原材料価格の高騰が長期化しており、県内企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

また、人口減少という深刻な課題を抱える本県においては、若い世代を中心に、新潟が働く場、挑戦する場として「選ばれる地」となることが必要です。

このため、若い感性と柔軟な発想を有している皆様方との連携は、県としても一層重要になってくるものと考えております。

皆様方におかれましては、輝ける未来のため、地域の繁栄を次世代に引き継ぐことができるよう、65周年の節目を契機に一層御活躍いただくことを心より期待しております。

結びに、新発田青年会議所の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念してお祝いの言葉といたします。

祝 辞



新発田市長
二階堂 馨

一般社団法人新発田青年会議所の創立65周年を心よりお喜び申し上げます。

新発田青年会議所の皆様には、平素から様々な事業を通じて子供たちの教育の推進に多大なるご支援をいただいていることに深く感謝いたします。

さて、今私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しています。特に、急激な情報化に伴うAI等の情報技術は、上手く活用することで、子供たちの学びに大きな恩恵をもたらしてくれますが、その一方で、生きていくうえで必要な資質や能力を育むためには、人とのコミュニケーションや自然とのふれあいといった実体験が欠かせません。皆様が企画するイベント活動は、「わんぱく相撲」をはじめとした地域活性化につながるなど、学校や家庭と地域を結びつける架け橋としての役割を担っており、子供たちの未来を明るく照らし、実りある社会が実現するようご尽力をいただいております。今後も引き続き、地域の若きリーダーとして、地域の活性化を牽引されていくことに心より期待しております。

結びに、新発田青年会議所のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



阿賀野市長
田中 清喜

一般社団法人新発田青年会議所創立65周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

貴青年会議所が1958年に設立され、今日まで歴代理事長を中心に役員ならびに会員各位が力を合わせ、「修練・奉仕・友情」の三つの信条のもと、明るい豊かな地域社会を築くための活動を続けてこられたことに対し、深く敬意を表します。

さて、2020年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界的な経済危機に直面しました。ようやく今年に入り、日常生活において多くの制限を受けた新型コロナウイルス感染症は、法的な位置付けが5類へと移行したことで、コロナ禍前の日常が戻りつつありますが、落ち込んだ地域経済の回復と活性化が強く求められております。

貴青年会議所からは、これからのポストコロナ社会の構築に向け、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新発田青年会議所の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念しましてお祝いの言葉といたします。

祝 辞



聖籠町長
西脇 道夫

一般社団法人新発田青年会議所が、創立65周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様が「修練・奉仕・友情」の3つの信条のもと、明るい豊かな社会を実現するため、今日まで地域の発展に貢献されてきたことに、心から感謝を申し上げるとともに、長年活動を支えてこられました歴代の理事長、役員の方々をはじめ会員の皆様に、深く敬意を表するものであります。

昭和から平成、令和の時代を経験し、その時々のご苦勞があったかと存じますが、まさにこれからの時代においても、少子高齢化や地方創生、脱炭素社会の実現(GX)やデジタル化社会の実現(DX)など、多くの社会課題が山積しております。

これらの課題を克服し、豊かな社会を築いていくためには、地域を担う若きリーダーとして、これまで青年会議所で受け継がれてきた伝統を守りつつ、柔軟な発想と大胆な行動力が求められています。

皆様におかれましては、この65周年を契機に、会員相互の結束を一層強固なものとされ、この地域の発展にご尽力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人新発田青年会議所の益々のご発展を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



新発田商工会議所会頭
佐藤 哲也

一般社団法人新発田青年会議所創立65周年を心からお祝い申し上げます。

次代の担い手である青年会議所の皆様は、新発田、阿賀野、聖籠地域の青年経済人として、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、活動し続けられていることに対して深く敬意を表します。

さて、昨今の日本を取りまく状況は、ロシア・ウクライナ情勢から、防衛だけでなくエネルギー安全保障や経済・食糧安全保障の重要性を認識させ、経済活動の面からもSDGs、DX化、GXへの対応、そして人材確保・育成、原材料・エネルギー価格高騰、価格への転嫁等の課題に直面しています。

このような多岐に渡る課題を乗り越える原動力となるのは、柔軟な発想と卓越した行動力を持つ次世代のリーダー、青年会議所の皆様です。

各地域では、人口や事業者の減少で地域経済の縮小が見込まれる中、貴青年会議所が持続可能な経済社会を実現する旗手となることを期待しています。

結びに、一般社団法人新発田青年会議所の益々のご発展と、会員皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、祝辞といたします。



祝 辞



公益社団法人
日本青年会議所
第72代会頭
麻生 将豊

一般社団法人新発田青年会議所の皆様、創立65周年、誠におめでとうございます。65年という長きにわたり、地域に多くの運動を生み出してこられたことに対しまして、心より敬意を表します。

青年会議所を取り巻く環境は創立当時とは大きく変わり、2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症によるパンデミックや、紛争をはじめとする不確実な情勢が世界を覆うなか、夢を描くことすら忘れてしまい、日々を何気なく過ごすことも増えたかと思います。しかしながら、創立より青年経済人の想いを紡いでこられた貴青年会議所の皆様におかれましては、諸先輩方の熱き想いを継承し、65周年という記念すべき年に、若桑正樹理事長が掲げられる『絆～共に未来につなぐ、限りなき可能性～』というスローガンのもと、志を高く持ち、感謝の心を忘れず、明るい豊かな社会の実現を目指し邁進されることと存じます。

日本青年会議所といたしましても、「Drive our dreams～日本の魅力で世界を席卷しよう～」をスローガンに掲げ、全国各地で夢を描く仲間の事業をともに進め、日本の底力を世界へ発信してまいります。引き続き本会に対し、深いご理解、ご支援を賜るとともに、大いにご活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに素晴らしい運動を展開されますこと、先輩諸氏、現役会員の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。



公益社団法人
日本青年会議所
北陸信越地区協議会
2023年度会長
堀内 和彦

この度は、一般社団法人新発田青年会議所が創立65周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

まずは、長きにわたり地域のために活動をされてこられた先輩諸兄の皆様には敬意を表するとともに、混沌とする状況が続いていたなかでも、未来に向かって志を持ち、運動を絶やすことなく継続されている若桑理事長をはじめとする現役メンバーの皆様に対しても、深く敬意を表します。

貴青年会議所が、これからも地域の課題に向き合い、地域に根差した運動を展開し、皆様一人ひとりの成長を通して地域が活性化していく未来にご期待申し上げます。

結びとなりますが、創立より65年という歴史を刻み運動を展開されてこられました貴青年会議所の更なるご発展と、先輩諸兄、現役会員の皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。創立65周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



公益社団法人
日本青年会議所
北陸信越地区
新潟ブロック協議会
2023年度会長
大桃 崇弘

一般社団法人新発田青年会議所様が創立65周年の節目を迎られましたことを心よりお慶び申し上げます。創立以来、65年という長きにわたり「明るい豊かな社会」の実現に向けて、挑戦し続けてこられた歴史とご功績、先輩諸氏から受け継いでこられた高い志に深く敬意を表しますとともに、日頃より新潟ブロック協議会に多くのお力添えを賜っておりますことに心より感謝申し上げます。今年度の新潟ブロック協議会は「共創」を掲げ、夢溢れる新潟の実現に向けて運動を展開しております。これからも志を同じとする仲間としてより強い絆を結び、共により良い未来を創造していきましょう。

結びに、今後も新発田青年会議所様が行う全ての運動が成功し、今後も地域から求められる団体であり続けること、そして、新発田のまちが限りない可能性で溢れ、明るく照らされることを心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。この度は誠にありがとうございます。



一般社団法人
新津青年会議所
第67代理事長
若月 要

この度は一般社団法人新発田青年会議所創立65周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

創設以来、65年という長きにわたり明るい豊かな社会実現に向けて紡いでこられた歴史とご功績、先輩諸氏から受け継いでこられた志と伝統に深く敬意を表しますとともに、若桑正樹理事長をはじめとします現役メンバーの皆様に対してもこれまでとても友好的な関係を築いてこられましたことに心より感謝申し上げます。

本年度、貴青年会議所は「絆～共に未来につなぐ、限りなき可能性～」をスローガンに掲げ、地域の未来を切り拓くべく活動されており、その姿は同じ新潟県の地で共に活動する私達にとって励みとなり、また勇気づけられております。これからも地域の課題と向き合い、地域の活性化を目指して活動し成長していくことをご期待申し上げます。

結びに、貴青年会議所の益々のご発展と、メンバーの皆様のさらなるご活躍とご多幸をスポンサー LOMとして心からお祈り申し上げます。



祝 辞



阿賀北青年ネットワーク
2023年度会長
長谷川 弘和

一般社団法人新発田青年会議所創立65周年を迎えるにあたり、阿賀北青年ネットワークを代表いたしまして心からお祝い申し上げます。

諸先輩方より65年間受け継がれてきた、変わらぬ熱い想いと共に培ってきた精神、数多くの功績に支えられた現役メンバー皆様のご尽力による実績の数々、心より敬意と感謝を申し上げます。

様々な活動において、新発田青年会議所の団結力、行動力は地域の仲間たちにも大きな刺激となり、阿賀北地域の発展や我々の活動のお手本となってくださっていること、本当に頼もしく思っております。

私たちはコロナ禍を経て、働き方や人々の意識、常識が大きく変化を遂げている現代社会に於いて、先駆者としてより良い地域社会の実現を目指し歩み続けていかななくてはなりません。

第65代理事長若桑正樹君の優れたリーダーシップと新発田青年会議所メンバー皆様の強い絆で踏み出す希望の一步が、明るい豊かな未来へと繋がりますようお願いしております。

創立65周年を迎えられた一般社団法人 新発田青年会議所の皆様が「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、さらなるご活躍をなされることをご祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。



新発田青年会議所
OB会会長
渡邊 明紀

一般社団法人新発田青年会議所の創立65周年を心からお喜び申し上げます。

新発田青年会議所は創立以来、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条の下、様々な活動を通じて地域社会の活性化に多大な貢献を果たしてきました。また近年は一般社団法人を取得し、諸先輩方に続き日本青年会議所などにも多数の出向者を輩出し、益々活動の幅を拡大されています。このたび創立65周年という節目を迎え、そのたゆまぬ熱意と努力に対して深く敬意を表します。

ここ数年の新型コロナウイルス感染禍においては、JC本来の活動がままならない中、6月に盛大に執り行われた参列者400名を超える「65周年記念式典・祝賀会」、9月に開催された「第4回わんぱく相撲女子全国大会新潟しばた大会」など、積極的に事業を展開されています。

アフターコロナの今こそ「社会から青年会議所が必要とされている時代」です。私たちOBもJC活動を通じて沢山の喜びと多くの失敗を経験し、数多くの大切な仲間を得たことで、今の自分があるのだと感じております。どうか後輩諸君には創立65周年を契機に、更なる「修練」を積み重ね、地域社会への「奉仕」に努め、「友情」を一層強固なものとし、若きリーダーとしてこの地域をけん引してほしいと願っております。

2018

挨拶



第60代理事長
佐藤 友哉

スローガン

「衝」
～ impact ～

会員数・年間予算

会 員 数 89名(2018年12月31日時点)
年 間 予 算 13,429,350円
(事業費：7,319,824円)

主な事業活動

- ・コミュニティを広げる事業
- ・異業種交流会
- ・情報リテラシーに関する事業
- ・新発田J C 60年の振り返り事業
- ・メンバーの資質向上を促す事業
- ・わんぱく相撲大会 新発田場所
- ・インバウンドによる地方創生を学ぶ事業
- ・溝口大祖神御神輿運行
- ・60周年記念式典及び記念誌発行
- ・60周年記念事業
- ・会員拡大意識向上事業・青少年育成事業
- ・地域の魅力発信と意識向上事業

6年前、2018年度の理事長として準備を進めているころにしたためた理事長所信に改めて目を通してみました。今見ると稚拙な文章ではありますが、当時から今もずっと抱き続けている私のJCにおける信念のようなものを見て取ることができました。その中で、「取り巻く環境が変わるのだから、私たちも変わらなければならない」という一文が目にとまりました。周年という節目だからこそ、歴史に感謝しながら、時代に即した組織に変革していこう、という趣旨であったと記憶しています。

この5年間で、この世界は大きく変わりました。当時の私を含め、全人類が想像だにできなかった変化です。

所信の最後に記した、私の大切にしている言葉。

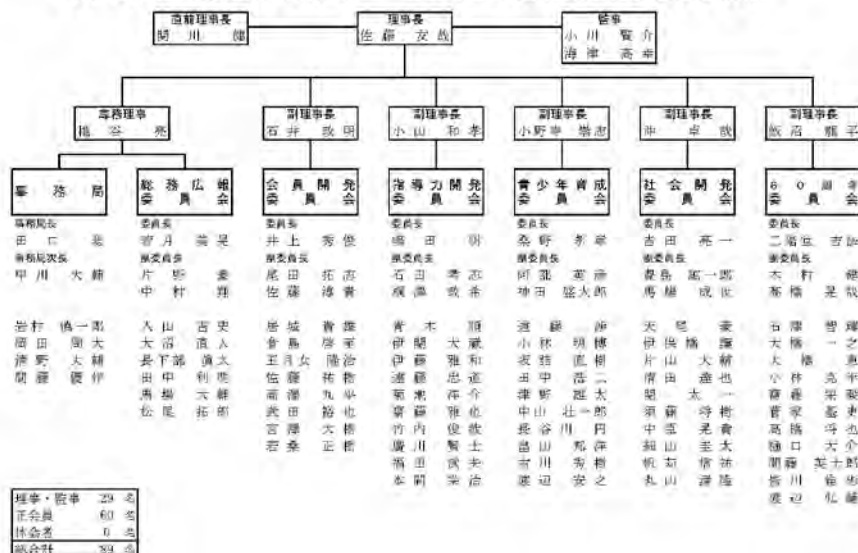
【知彼知己、百戦不殆】

これほどまでにこの言葉の重みを感じることはありません。私たちは何ができて、何ができないのか。社会の課題はどこにあるのか。そもそも我々は何者なのか。

大きな変化を乗り越えることのできた私たちは、これからどんな難局に直面しようと前に進み続けることができると確信しています。様々なパートナーと連携しながら、1ミリでもこの地域をより良くするための「衝」ある運動を展開していくことを、これからも陰に日向に支えていく所存です。

組織及び委員構成

一般社団法人 新発田青年会議所 2018年度 組織図及び委員会構成



2018年度の主な事業活動

60周年式典



【事業概要】

■参加対象者：御来賓・青年会議所関係者

■参加人数：566名 ■予算額：1,200,000円 決算額：1,163,466円

9月8日、「一般社団法人 新発田青年会議所 創立60周年・祝賀会」を聖籠町民会館にて開催いたしました。

1958年(昭和33年)、地域社会の発展を図り、会員の連携と指導力の啓発に努めるとともに、国際的な理解を深め世界の繁栄と平和に寄与することを目的とし、新発田青年会議所は産声を上げました。高い志を掲げながら紡いできた歴史は2018年で60年という大きな節目を迎えました。この地において、新発田青年会議所が永きにわたり現在まで続けることができたのは、歴史を紡いでこられた先輩諸兄姉と関わる地域の方々、そして多くの同志の支えがあったからこそであります。今日まで活動ができていることが「有難い」ことでもあります。心より感謝申し上げます。

創設以来、脈々と受け継がれてきた絶対的価値観ともいえる精神をこれからも大切にしながらインパクトのある運動を展開し、先輩諸兄姉、そしてこの地域に感謝を伝える場が60周年記念式典と捉えて設営させていただきました。

とりもどそう！新発田城おさかなパラダイス！～生物多様性保全作戦 I N新発田城～



【事業概要】

■参加対象者：周辺地域にくらす方々

■参加人数：525名 ■予算額：1,410,500円 決算額：1,174,116円

9月17日、爽やかな秋晴れのなか、新発田青年会議所60周年記念事業といたしまして「とりもどそう！新発田城おさかなパラダイス」を開催させていただきました。

60年にわたり、私たちの活動に御理解と御協力をいただきました市民の皆様と地域に感謝の気持ちと強いインパクトを…！そんな念いで実施させていただきました。この「新発田城のお堀の水を抜く」という体験型の事業には、市民をはじめ県内外、大人から子供まで約500名の方にご参加いただきました。泥だらけになりながらも普段目にすることができないお堀の中や、生態系を学んでいただくことができ、身近な環境への意識を高めていただくことができたと考えております。参加していただいた皆様、大変お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

2019

挨拶



第61代理事長
宮澤 大樹

スローガン

「念い」
～新たな時代の創造 今、新しい一歩を～

会員数・年間予算

会 員 数 94名(2019年12月31日時点)
年 間 予 算 12,032,913円
(事業費：6,239,352円)

主な事業活動

- ・出向者アワー
- ・入会説明会
- ・挑戦する心を育む事業
- ・地域の人口増減の現状と対策を検討する事業
- ・わんぱく相撲大会 中条場所
- ・地域の魅力発信事業
- ・伝統を受け継ぎ次世代へ継承する事業
- ・溝口大祖神御神輿運行
- ・青少年育成事業
- ・意識資質向上事業
- ・地域ブランド力向上事業

一般社団法人新発田青年会議所創立65周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。また65年という長きにわたりこの地域の未来のためにご尽力され、時代をつないでこられた先輩諸兄姉の皆様と、現在活躍されています現役メンバーの皆様に敬意を表すると共に感謝申し上げます。

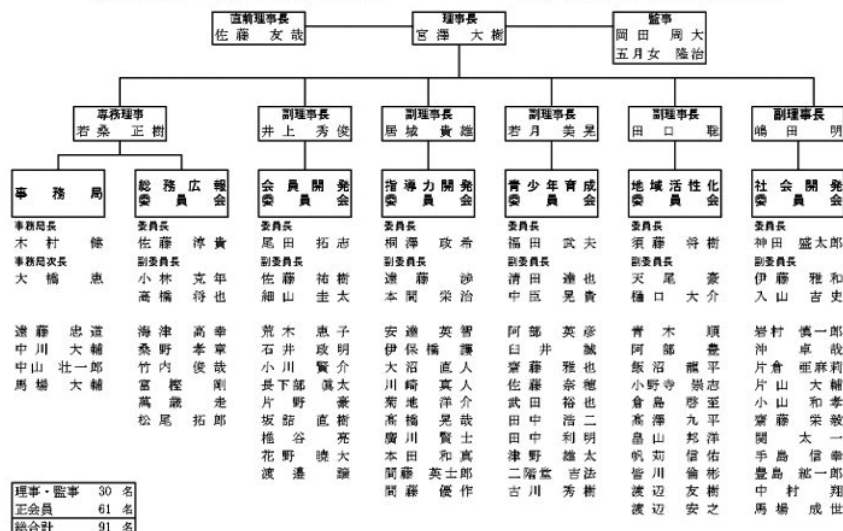
2019年度は平成から令和へと元号が変わり新たな時代の幕開けとなる節目の年でありました。令和の由来には「春の訪れを告げる梅の花のように、明日への希望と共に、一人ひとりが希望を持てるより良い国になってほしい」という願いが込められています。この地域におかれましても、夢や希望を誰もが持てる地域になっていただきたいと強く「念い」様々な運動を展開させていただきます。

JCは立場や考え職種は違っても地域を愛する「念い」のもと、少しでもこの地域が良くなるように時には本気でぶつかり合い議論を重ね、お互い切磋琢磨しながら固い「絆」で結ばれ日々成長できる素晴らしい団体であります。

結びに一般社団法人新発田青年会議所のさらなるご発展とメンバーの皆様のご活躍、そしてこの地域が益々発展していきますことを心より祈念申し上げますお祝いの言葉とさせていただきます。

組織及び委員構成

一般社団法人 新発田青年会議所 2019年度 組織図及び委員会構成



2019年度の主な事業活動

念いを運べ！～ギネス世界記録に挑戦～



【事業概要】

- 参加対象者：新発田市、阿賀野市、聖籠町に住む小学生(1～6年生)の親子
- 参加人数：264名 ■予算額：1,800,000円 決算額：1,766,395円

9月29日、新発田五十公野公園陸上競技場にて、9月例会 青少年育成事業「念いを運べ！～ギネス世界記録に挑戦～」を開催いたしました。

本事業は、大玉送りのギネス記録に挑戦し、仲間や親とコミュニケーションを取りながら困難を共に努力し達成することで挑戦することの大切さを学んでもらうことを目的とした事業でした。

当日は、大玉送り[参加者が頭上で大玉を100メートル運ぶという内容で、標準記録の25秒以内に記録達成]に挑戦。1回目で『20秒97』という記録を出すことができ、見事「ギネス世界記録達成」となりました。悪天候ではありましたが、ご協力いただきました多くの皆様、誠にありがとうございました。

地域ブランド向上事業～振り返り、東洋一の桜へ～



【事業概要】

- 参加対象者：(一社)新発田市観光協会、加治川を愛する会、協賛企業、一般来場者
- 参加人数：不特定多数名 ■予算額：600,000円 決算額：580,677円

11月9日から11月16日の7日間にわたり、地域ブランド力向上事業「桜と光の饗宴 ～振り返り、東洋一の桜へ～」を開催いたしました。

かつて「東洋一」と呼ばれ親しまれていた加治川の桜を復活させたい…。そんな念いを胸に、新発田青年会議所は、加治川治水公園に桜のイルミネーションを施し、秋の夜桜を咲かせようと考えました。本事業は、地元企業の皆様から協賛を募らせていただきました。その協賛を使用し、加治川治水公園の桜へイルミネーションを施し、夜桜を演出いたしました。約43,000球の桜イルミネーションが彩る秋の夜桜は見事に咲き誇り、来場者は1,200人を超え、口々に称賛のお声をいただきました。新発田青年会議所としては初の試みとなる事業でしたが、我々の活動が阿賀北地域のブランド力向上の一助となり、阿賀北の地へ他地域から足を運んでいただくきっかけになれば幸いです。協賛をいただきました地元企業の皆様、関係者の皆様、そしてお越しくいただきました皆様、心より感謝申し上げます。



第62代理事長
岡田 周大

スローガン

「信進」
～ development opportunities ～

会員数・年間予算

会 員 数 77名(2020年12月31日時点)
年 間 予 算 9,455,375円
(事業費：4,215,160円)

主な事業活動

- ・「SDGs」を推進する事業
- ・個人の情報発信力向上事業
- ・医療従事者にエールを！
ブルーライトアップ事業
- ・J C I 新発田 命の輪プロジェクト
- ・溝口大祖神御神輿運行
- ・国際開発事業
- ・思いやりの心を育む事業
- ・「SDGs」を事業に根付かせる事業
- ・国際交流事業
- ・異業種交流事業～輝け阿賀北地域の輪

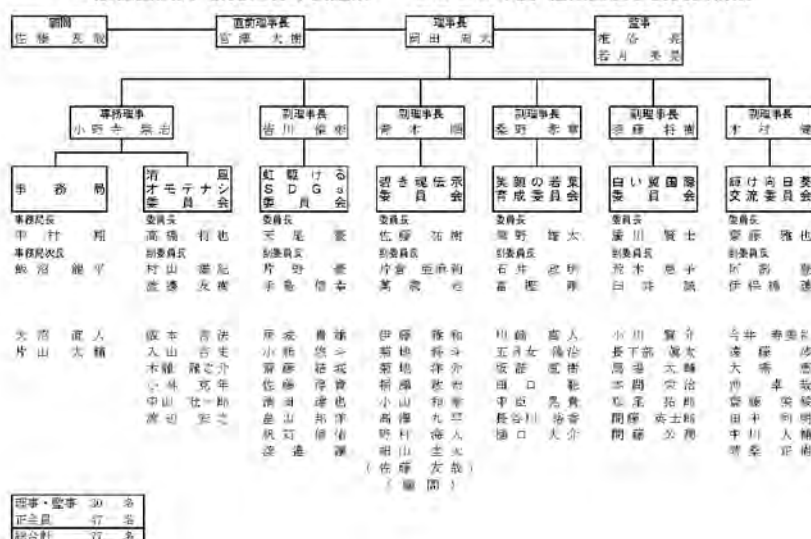
一般社団法人新発田青年会議所が創立65周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。創立から今日に至るまで長い歴史をつむいでこられた先輩諸兄姉ならびに、並々ならぬご協力を賜りました各種関係者の皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。

2021年に中村天風と出会い「氣」と出会う。藤平光一に出会い「心身統一合気道」と出会う。運命というものには二種類あり、どうにも仕様のない運命を天命といい、人間の力で打ち開くことのできるものを宿命といいます。激動の30代から40代に向かう青年会議所メンバーに是非実践して欲しいことは、尊さを汚さず、強さを失わず、正しさと清らかさを堅持し、消極的な言葉は使わず、積極的な態度を一貫してください。大抵のことは宿命ばかり、人生は心一つの置きどころです。2015年度に石井和歌子先輩のスローガン「氣」と出合っていたが、私が理事長の時に「氣」の意味を伝えることができなかった。多くのメンバーに伝えることができたならより良かったと思い、ここに記します。※積極＝セキギョク

無限の可能性に限界を決めることなく青年らしく冒険し、寝床に就いたら何も考えず、御霊を真絹で優しく包むような氣もちで休み、夜が明けたら歴史と伝統を守りながら新しいことに挑戦してください。全ての機会を成長と捉え、共に信じて進もう成長の、その先へ。

組織及び委員構成

一般社団法人 新発田青年会議所 2020年度 組織図及び委員会構成



2020年度の主な事業活動

医療従事者にエールを！ブルーライトアップ事業



【事業概要】

■参加対象者：御来賓・青年会議所関係者

■参加人数：－ 名 ■予算額：150,000円 決算額：149,160円

全世界で新型コロナウイルスが猛威を振るう中、前線で日々戦い続ける医療従事者の皆様を応援する『ブルーライトアップ運動』が世界各地で展開されました。そこで、新発田青年会議所も新発田市役所にてLEDライトを使用し、県立新発田病院で働く医療従事者の皆様に感謝と応援の意を表し、設置・点灯をさせていただきました。

医療従事者にエール～コロナはまだ終わってない～



【事業概要】

■参加対象者：阿賀北地域

■参加人数：－ 名 ■予算額：240,000円 決算額：234,930円

2020年、新型コロナウイルス感染症の影響で対応に迫られている医療従事者の皆様にエールを送りたいとの念いで、新発田市役所・阿賀野市役所・聖籠町役場の3箇所にアドバルーンを揚げました。当時、大きな負担を受けている医療従事者の皆様にエールを、新型コロナウイルスはまだ収束していないというメッセージを地域の皆様にお伝えすることで、第2波を発生させない。また、不当な差別や偏見・誹謗中傷をしないこと、そして、新発田青年会議所は新型コロナウイルスには負けないぞ！という意思表示を行った事業となりました。



第63代理事長
椎谷 亮

スローガン

「Achievement」
～成し遂げる～

会員数・年間予算

会 員 数 76名(2021年12月31日時点)
年 間 予 算 11,036,459円
(事業費：4,979,546円)

主な事業活動

- ・デジタルシフト推進事業
- ・可能性拡大事業
- ・情報リテラシー向上事業
- ・指導力を開発する事業
- ・有事の新発田青年会議所と社会福祉協議会の活動を学ぶ事業
- ・溝口大祖神御神輿運行
- ・事業継続力を強化する事業
- ・次世代リーダー育成事業
- ・委員会事業報告会

当会創立65周年に際し、創立以来、私たちの活動にご理解とご協力をいただきました関係諸団体の皆様、65年にわたる歴史を築き上げてこられた当会OB先輩諸氏の皆様、そして65年間当会と共にあったすべての地域の皆様に、第63代理事長として厚く御礼を申し上げ、心からの敬意を表します。

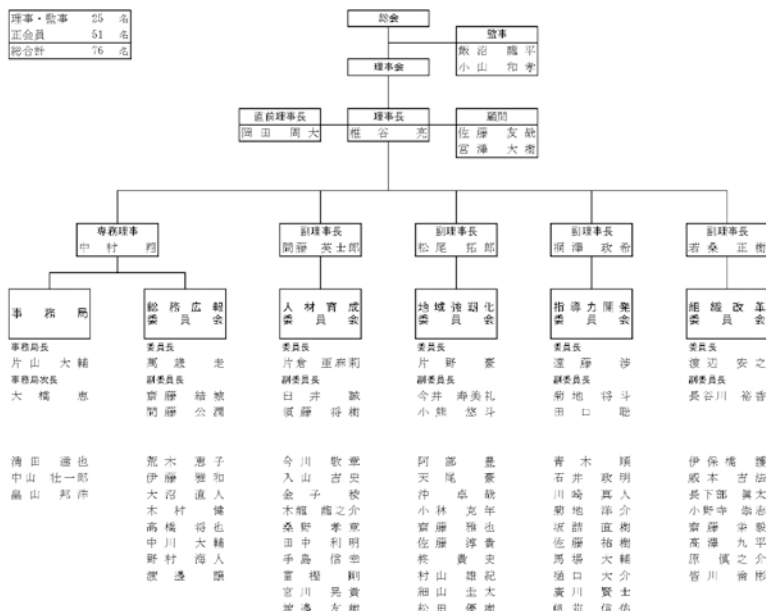
創立以来、65周年を迎えた本年まで、この地域には多くの困難があったことと存じます。私が理事長の職をお預かりした2021年も新型コロナウイルスの影響が顕著で、今でも当時を昨日のように覚えております。困難に立ち向かい、そして乗り越え、成長と発展の機会を手にすること。コロナの脅威を前に、青年会議所の本質を、その存在意義を、衝撃をもって体感した日々でした。

困難や逆境の中にもこそ、新たな挑戦が生まれ、人は成長し、未来へと前進できる。私たちが成長すれば、事業所が成長し、地域社会が発展する。私は、青年の学び舎たる青年会議所の力がこの先もこの地域の発展に寄与するものと信じていますし、さらなる発展を願ってやみません。

地域の皆様、当会OB先輩諸氏の皆様の益々のご発展と、現役メンバーの皆様がこの先10年、100年、未来永劫、あらゆる困難に挑戦し、乗り越え、成し遂げることを祈念し、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 新発田青年会議所 2021年度 組織図及び委員会構成

理事・監事	25 名
正会員	51 名
総合計	76 名



2021年度の主な事業活動

6月例会「有事の新発田青年会議所と社会福祉協議会の活動内容を学ぶ事業」



【事業概要】

■参加対象者：新発田青年会議所メンバー

■参加人数：57名 ■予算額：80,000円 決算額：63,800円

近年、大規模な自然災害が日本各地で発生しており、我々が住む阿賀北地域でもいつ大規模災害が発生し、自身や家族が被災してもおかしくありません。そこで、地域強靱化委員会が主管となり新発田市、聖籠町、阿賀野市の社会福祉協議会様をお招きし、会員メンバーとの質疑応答や、災害に対する備えや有事の際にどのように行動すればいいのかなどの説明を直にお聞きすることで、自然災害に対する防災意識や当事者意識を高めることができる事業となりました。

衆議院議員選挙に伴う公開討論会



【事業概要】

■参加対象者：YouTube、Facebookユーザー

■参加人数：— 名 ■予算額：300,000円 決算額：294,970円

10月28日、黒岩宇洋氏、斎藤洋明氏(五十音順)の衆議院議員選挙(新潟3区)に伴う公開討論会を行いました。立候補者2名による新型コロナウイルス感染症と地域課題を議題に「YouTube」と「Facebook」のソーシャルネットワークを使用して配信をさせていただきました。2021年はまだまだ新型コロナウイルスによる感染が広まっている渦中ではありましたが、このような媒体を使用することによって安全に1,000名以上の視聴者に配信することができました。



第64代理事長
中村 翔

スローガン

「挑戦」
～新たな未来のために～

会員数・年間予算

会 員 数 61名(2022年12月31日時点)
年 間 予 算 9,492,164円
(事業費：3,982,000円)

主な事業活動

- ・委員会・出向者アワード
- ・意識資質向上事業
- ・ありがとうの気持ちを伝える事業
- ・情報力向上事業
- ・わんぱく相撲大会 新発田場所
- ・新発田・御柱祭 曳き御柱パレード
- ・溝口大祖神御神輿運行
- ・敬和×JCI新発田の可能性を探る事業
- ・文化振興事業
- ・2022委員会・出向者アワード

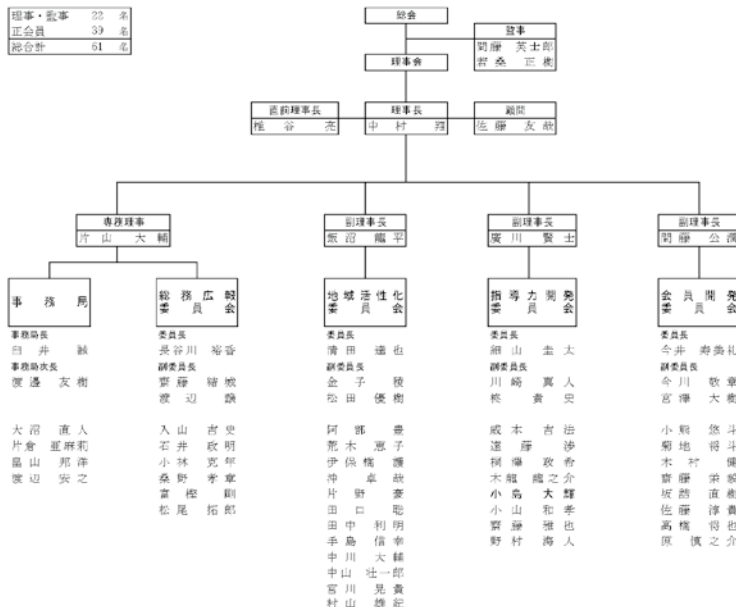
一般社団法人新発田青年会議所の創立65周年にあたり、まずは地域の皆様、関係諸団体の皆様には、今日まで多くのご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。そして、創立から今日までの65年間、地域社会の発展にご尽力されてこられました先輩諸兄姉の皆様には心より敬意を表します。

新発田青年会議所は、65年という歴史と伝統を守りながら、地域社会の発展に尽力してまいりました。歴史と伝統を積み重ねても、決して忘れてはいけないうものがあります。それは、なぜ青年会議所があるのか。初めて東京で青年会議所が設立された1949年、先輩諸兄姉が何を想い、集まったのか。今よりも大きな困難があり、今よりも多くの社会問題を抱えた地域のために寄与しようというシンプルな情熱があったはず。これを忘れずに歩みを進めれば、さらに地域社会を発展させることができると考えております。

結びに、一般社団法人新発田青年会議所が創立65周年を契機として、新たな一歩を踏み出すことを期待するとともに、70年、100年と地域に必要とされる団体になりますことを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

一般社団法人 新発田青年会議所 2022年度 組織図及び委員会構成

理事・監事	22 名
正会員	39 名
総合計	61 名



2022年度の主な事業活動

曳き御柱パレード



【事業概要】

- 参加対象者：外部：曳き御柱祭り参加団体の方々、一般市民 内部：(一社)新発田青年会議所メンバー
- 参加人数：外部386名、内部42名(予定296名、内部62名) ■予算額：400,000円 決算額：399,699円

2004年(平成16年)に諏訪神社が再建された際、長野県にある諏訪大社の200回目にあたる御柱祭に重なっていたため記念として拝受したのが始まりで、2022年で4回目となります。

新発田市の御柱祭は、『曳御柱祭』と『建御柱祭』の2部構成となっており、曳御柱祭は御柱を新発田城址公園から諏訪神社に向けて市民の皆様と曳いていくものです。建御柱祭は諏訪神社に到着した御柱を境内に建てる行事となります。6年ぶりに開催された御柱祭に参加させていただくことと、新型コロナウイルスの影響により行えていなかった対外事業を久しぶりに開催でき、大変感慨深いものになりました。

文化振興事業～しばたの心共有Day～



【事業概要】

- 参加対象者：新発田市の小学生4～6年生
- 参加人数：外部49名 内部46名 ■予算額：500,000円 決算額：336,464円

新発田の文化・歴史の集積地である新発田駅前を中心として、新発田青年会議所会員がコーディネートしながら小学生の子供たちと歩き、写真を撮ってその場所のレクチャーを行う事業を行いました。

現在の小学生は総合学習として街歩きや街探検を行う学校が多いようです。しかし、大人たちや学校で教わること以外のディープなスポットや歴史・文化を教わる機会は多くないのではないかと考え、この事業を構築いたしました。私たち大人も久しぶりに小学生と触れ合うことができ、新発田市のことを改めて知れた内容となりました。新型コロナウイルスの影響により対外事業を経験できていなかったメンバーにとっても有意義な事業となりました。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

新発田青年会議所 歴代理事長

産ぶ声(1958)

新発田青年会議所 創立

初年度(1959)

初代理事長
関川 六衛

2 年度(1960)

第 2 代理事長
関川 六衛

3 年度(1961)

第 3 代理事長
武田 栄吉

4 年度(1962)

第 4 代理事長
島津 憲一

5 年度(1963)

第 5 代理事長
井岡 博男

6 年度(1964)

第 6 代理事長
鈴木 功

7 年度(1965)

第 7 代理事長
岸 十三

8 年度(1966)

第 8 代理事長
中出 重四

9 年度(1967)

第 9 代理事長
中村 五郎

10年度(1968)

第10代理事長
杉浦 輝雄

11年度(1969)

第11代理事長
高木 庄一

12年度(1970)

第12代理事長
中村 一男

13年度(1971)

第13代理事長
佐久間 栄一

14年度(1972)

第14代理事長
島津 洋司

15年度(1973)

第15代理事長
小林 政爾

16年度(1974)

第16代理事長
市島 真平

17年度(1975)

第17代理事長
立川 新二

18年度(1976)

第18代理事長
皆川 衛威

19年度(1977)

第19代理事長
山田 長門

20年度(1978)

第20代理事長
山田 貞三

21年度(1979)

第21代理事長
桂 重房

22年度(1980)

第22代理事長
嶋谷 次郎八

23年度(1981)

第23代理事長
野口 誠

24年度(1982)

第24代理事長
渡辺 廣七郎

25年度(1983)

第25代理事長
高橋 理夫

26年度(1984)

第26代理事長
岩村 伴正

27年度(1985)

第27代理事長
小島 啓一

28年度(1986)

第28代理事長
飯沼 和男

29年度(1987)

第29代理事長
齋藤 正

**30年度(1988)**

第30代理事長
二階堂 馨

31年度(1989)

第31代理事長
佐藤 哲也

32年度(1990)

第32代理事長
小島 慎二

33年度(1991)

第33代理事長
會田 光男

34年度(1992)

第34代理事長
笹川 智明

35年度(1993)

第35代理事長
鳥海 重雄

36年度(1994)

第36代理事長
中村 勉

37年度(1995)

第37代理事長
小林 義明

38年度(1996)

第38代理事長
谷川 宗男

39年度(1997)

第39代理事長
高澤 大介

40年度(1998)

第40代理事長
濱崎 隆志

41年度(1999)

第41代理事長
神田 敬一

42年度(2000)

第42代理事長
渡部 利明

43年度(2001)

第43代理事長
若桑 茂

44年度(2002)

第44代理事長
武田 真

45年度(2003)

第45代理事長
國枝 晴隆

46年度(2004)

第46代理事長
渡邊 明紀

47年度(2005)

第47代理事長
高山 廣伸

48年度(2006)

第48代理事長
金子 俊文

49年度(2007)

第49代理事長
五月女 敬博

50年度(2008)

第50代理事長
町田 英樹

51年度(2009)

第51代理事長
小柳 将和

52年度(2010)

第52代理事長
下村 栄

53年度(2011)

第53代理事長
小林 和也

54年度(2012)

第54代理事長
石井 和郎

55年度(2013)

第55代理事長
高島 健二

56年度(2014)

第56代理事長
関川 良平

57年度(2015)

第57代理事長
石井 和歌子

58年度(2016)

第58代理事長
間藤 秀一

59年度(2017)

第59代理事長
関川 健



賛 助 会 員

《敬称略》

会社・組織

(株)九楽園生花店
(株)TOWA JAPAN
(株)デザイン工芸
(有)豊谷殿(谷平)
(有)ハタノ商会
(株)石井組
下村車輛工業(株)
(有)桂薬局
(株)ユタカオート
(有)種権園芸
(株)小林造園
(株)メディア出版
祥京庵
AGN(株)
檜内建設(株)
宮島石油販売(株)
(有)タカハシ工業
(株)富岡鉄工所
(株)ミツル電工
(株)マトー
(有)臼井農畜産
医療法人 信眼会
(株)真越機工
(有)栗原緑樹園
(株)渡正
(株)テレパーク
ベストワンビル
ファブ・エス(株)
(株)聖籠第一設備
(株)石田建設
(有)伊関酒店
(株)モダンガールズ

関金網(株)
ユーアイ
新発田運輸(株)
フッカーズ
(株)メタル新潟
(株)岩村組
豊島歯科医院
(株)たけだ重機
尾田牧場
(株)Zeal新潟
(有)島田造園土木
カイツ自動車(株)
(株)SAKAE COMPANY
KFP OFFICE
(株)ダイイチテック
(株)武田不動産
(有)シンワ
(株)関川産業
(株)安田車輛サービス
斎藤洋明事務所
インテリア菊地
(株)青木商事
(株)てとり
(株)ホテルニューあけぼの
(株)天尾重建
(税)小野寺税務会計事務所
(株)帆苅組
(株)Q
(株)新和組
(株)Office佐藤
古美術 岡周
(株)皆徳

(有)オサカバ
(株)ホテル丸井
(有)エービー工業
(株)北信
(株)双葉商事
(株)新潟グリーンテック
新成工業(株)
プライムテック(株)
(株)トラスト
ナイトバブ銀
コヤマホームサービス
M' works
(有)松屋茶舗
(株)アートオブライフ
タイ料理居酒屋エム
敬和学園大学

個人

渡 辺 直 人
小 林 和 也
小 林 誠
竹 内 俊 哉
井 上 望 美
五月女 隆 治
萬 歳 走
長谷川 裕 香
井 浦 義 太

(一社)新発田青年会議所 65周年式典・祝賀会

2023年6月18日(日) 月岡温泉 泉慶にて開催

6月18日新発田青年会議所65周年式典・祝賀会を月岡温泉泉慶様で行わせていただきました。今回の65周年式典・祝賀会のテーマを「おもてなし」としまして、常日頃からお世話になっております、新発田市長二階堂馨様、公益社団法人日本青年会議所会頭麻生将豊様をはじめ、約400名の方々にご出席いただき、地域の皆様、先輩諸兄弟、関係諸団体の皆様に対しまして、感謝をお伝えさせていただきました。



新発田青年会議所が創立65周年を迎えることができたのは先輩諸兄弟の皆様がこれまで挑戦をし続けてこられた賜物、また、地域の皆様との強固な「絆」を結んでこられたからです。

本事業は新発田青年会議所が皆様に「おもてなし」をさせていただくことで、65年という歴史を歩んでこられた感謝の意を表したく、式典・祝賀会の構築、絆ポーズの考案、各LOMへのキャラバン、リハーサル、など入念に時間をかけ、大勢の方々に支えていただき準備を進めてまいりました。

式典では皆様からの温かいお言葉、また、激励のお言葉。祝賀会では新発田青年会議所メンバーがご出席いただきました皆様へ、お酌や料理の紹介を行い「おもてなし」という形で感謝をお伝えさせていただきました。そして閉会宣言の際は皆様に絆ポーズをしていただき、より一層皆様との絆を深めることができました。ご参加、ご協力誠にありがとうございました。



～ 絆×感謝 ～

第4回 わんぱく相撲女子全国大会 新潟しばた大会 【勇気・礼節・感謝】 ～ 心にいつもわんぱくピース!!! ～

2023年9月24日(日) 新発田市カルチャーセンターにて開催

65周年記念事業として、第4回わんぱく相撲女子全国大会新潟しばた大会を行いました。全国から4年生63名、5年生62名、6年生60名の選手が集まり、男子にも負けない白熱した取組を見せてくれました。



第4回わんぱく相撲女子全国大会 大会成績表

個人:

4年生

優勝	星 衣織	(新潟県 新潟Aチーム)
大賞	新井 心路	(大阪府 大阪西チーム)
奨励賞	下田 真子	(愛媛県 愛媛チーム)
小賞	三宅 悠希	(兵庫県 兵庫高校チーム)

5年生

優勝	新井田 心路	(青森県 青森県代表チーム)
大賞	古賀 愛	(愛知県 豊田チーム)
奨励賞	生田 かな	(愛知県 名古屋チーム)
小賞	土田 さん	(茨城県 茨城チーム)

6年生

優勝	松田 実樹	(秋田県 秋田県女子チーム)
大賞	西沢 小夏	(大阪府 大阪西チーム)
奨励賞	三浦 りる	(北海道 札幌チーム)
小賞	許 美 希	(新潟県 新潟Aチーム)

団体: (順位)

(都道府県)

(チーム名)

優勝	新潟県	新潟県女子チーム
準優勝	秋田県	秋田県女子チーム
第3位	岩手県	岩手県女子チーム



※優勝者

(左から 新井田 心路さん・松田 実樹さん・星衣織さん)

優勝者インタビュー

【4年生の部 新潟Aチーム】 星 衣織 さん

- 優勝してどんな気持ちですか？
最初は緊張したけど、みんなのおかげで勝てました！
- わんぱく相撲に懸けた想いがありますか？
みんなのおかげ、ななちゃんのおかげで勝てました！

【5年生の部 青森県チーム】 新井田 心路 さん

- 優勝してどんな気持ちですか？
嬉しいです！
- わんぱく相撲に懸けた想いがありますか？
練習をたくさんしたことです。

【6年生の部 秋田県女子チーム】 松田 実樹 さん

- 優勝してどんな気持ちですか？
4年生で優勝して、5年生では出られず、6年生で優勝できたので嬉しい気持ちでいっぱいです！
- わんぱく相撲に懸けた想いがありますか？
お姉ちゃんたちのプレッシャーが凄かったり、学園の同級生から「2連覇してこい！」と言われてきたので、『是非優勝したい、金メダルを持って帰りたい』と思いました。

2023年度 事業紹介

■地域活性化委員会



委員長
宮川 晃貴

4月例会「地域の魅力ツアー in 阿賀北」を地域活性化委員会が主管設営致しました。

あまり例を見ないバスツアーを模した対内事業を企画し、地域の魅力を発信する我々青年会議所メンバーが地域の魅力を認知する為、道の駅加治川様、道の駅あがの様にご協力いただきました。また、各道の駅の特色や各道の駅で販売されている商品の生産者様に直接ご講話いただき、地域の魅力の開拓を行うことができました。バスツアーを模した例会を行い、メンバー全員で行動をした事でメンバー間にさらに強固な「絆」を醸成することができた事業になりました。



■未来創造委員会



委員長
小林 克年

5月例会事業として月岡カリオンパークの広大な自然を舞台に、親子で協力しミッションをクリアしていき同じ目標に向かって挑戦することで、家族との絆を深めてもらう事業として実施しました。

開催するにあたり敬和学園の学生やOBの方々にもブース出展を依頼し、会場を大いに盛り上げていただくと共に、地域の方々との絆も育んでいただくことができました。

また、事業当日は途中から雨が降る中ではありましたが、200名を超える多くの家族にご参加いただき、参加者からも「楽しかった、また参加したい」という嬉しいお声もいただき、家族の絆を深める一助になれたと感じております。



■指導力開発委員会



委員長
菊地 将斗

本年度の7月例会では、全会員が一致団結し、2024年度理事長予定者を盛大に激励することで、同志の絆をより深めました。

また、6月から8月にかけて3回の木遣り練習会を行い、地域の歴史を学び、木遣りや御神輿の動きを習得しました。そして、8月第二例会では、心意気と絆を胸に神事であり40周年を迎えた伝統を体現し、勇壮な溝口大祖神御神輿運行を行いました。

最後に、12月例会では卒業生スピーチ・卒業式を運営します。7名の卒業生を送り出すことで、念を受け継ぎ次世代へ継承するとともに、65周年を迎えた2023年度を締めくくります。



■総務広報委員会



委員長
終 貴史

本年度は2月に「求められる情報を考える事業」と題し、過去議案の検証を通して議案の背景・目的を学びました。背景の深掘りをどのように考えるか、深掘りした背景に対しJCとして最も効果的な目的構築は何かを考察しました。8月には「3分間スピーチ」と題し、新入会員と賛助会員による自己紹介を兼ねたスピーチを実施しました。自身の体験談や考え方を相手に効果的に伝える為に、会話構成・抑揚やスピード等の基礎を学び、緊張することを大前提としながらも発表者それぞれが事前準備の大切さに気付いた事業となりました。



■事務局



事務局長
高橋 将也

今年度のスローガン「絆」をテーマに、3月例会4L0M合同事業の設営を事務局で行いました。通年行っている4L0M合同事業ですが、今までやったことのないような設営を考えました。

結束を深めることは何か考え、過去の行った交流事業を振り返ると対決形式が多かったので今年度は新発田の活動エリアでもある月岡温泉街をL0M関係なくチームを組みスタンプラリー方式で写真を撮影しながら回っていただきました。

話したことのないメンバーとの会話や月岡温泉街を歩いて見ていただき、楽しく事業を終えることができ第一エリアの絆を一層深めることができました。



＜2023年度 65周年記念誌＞

発行／2023年11月18日

一般社団法人 新発田青年会議所

〒957-8550 新潟県新発田市中央町4丁目10番10号

新発田商工会議所3階JCルーム

TEL 0254-22-0404 FAX 0254-21-1522

企画・編集／65周年委員会〔委員長〕村山 雄紀〔副委員長〕荘司 拓磨 渡邊 友樹

〔委員〕小熊 悠斗 金子 稜 田中 利明 間藤 公潤 渡辺 安之

印刷／島津印刷株式会社

〒957-0000 新潟県新発田市富塚1419

TEL 0254-27-2101 FAX 0254-21-5013

新発田青年会議所 心意気

我々、新発田青年会議所の根底に、

脈々と流れたる精神は「心意気」である。

「心意気」は、修練の中から育まれる熱き情熱であり、この情熱は絶えず湧き出し続けなければならない。

「心意気」は、愛する郷土の発展のため、

子どもたちの未来を創るために使役する。

「心意気」は、新発田青年会議所の証として、

明るい豊かな社会の創出に向けた原動力とする。



Junior Chamber International Shibata
一般社団法人 新発田青年会議所